

大福山一梅ヶ瀬ルート復活

2019年の秋に千葉県を直撃した台風15号と19号による風雨の被害によって荒らされてしまった大福山と梅ヶ瀬を結ぶ山岳ルートが、今年2月に3年をかけてようやく復活しました。重機などが入らないルートの整備は大変な労苦であったと思います。毎年のように大福山、梅ヶ瀬ルートは通れるのかという問合せが観光協会などに寄せられるほど、このルートは人気があり、再開が待たれていました。

大福山は市原市の最高峰で292mあり、梅ヶ瀬川に至るまでは結構な高低差で、短い距離ながら山岳歩きを楽しめます。またここは紅葉の見事さも素晴らしいので、このルートを歩いて初めて体感できます。紅葉はその年の寒暖差やさまざまな見事さもあり、風も強く、このルートを歩いた後の12月初

めに行つたため、大方の紅葉は落ちていました。大福山からのルートの半分以上は両側が切れ落ちた尾根伝いの道です。木が両側に生えて木の根が縦横に走っています。陽は射さず草もあまり生えておらず、土がそのまま露出した状態なので木の根と合わせ雨上がりなどは滑りやすくなり、道幅がそれほどあるわけでもないで細心の注意が必要です。行程の後半には下りが急になりロープ場があったり岩場になったりです。ここでも滑りやすいので注意が必要です。

梅ヶ瀬川に出るところから日高跡まで7〜8分くらい川に沿ってあるいは川を渡って歩きます。この地に梅ヶ瀬書堂を開いた明治の人、日高誠實は数百年の梅を植え理想郷を目指し、植林、畜産、養魚等に力を尽くし、近隣からやってきた弟子たちに国漢、英数

今回ここを歩いて一番感心したのはゴミがまったく落ちていなかったことです。20年位前に秋になるとゴミ拾いでこのルートを仲間と歩いたことがありましたが、当時ほとんどゴミがなかったことを覚えていますが、山歩きする人のマナーが徹底されているのだと思います。

加茂里山通信

令和5年 新年号

発行 市原商工会議所 加茂里山通信編集部
編集長 矢野貴造

私たちが近く近くにこんなにも景観のいいところがあるもの、案外地元の人には歩いてくれない方が多いのではないかと思います。小敷谷の賑わいのある西川に行つたことが無い人も多いと思いますが、新緑の頃、そして紅葉の最盛期、一度はこの大福山、梅ヶ瀬ルートを堪能してみてください。

手間をかけた漬物や干し柿、干し芋など手作りする家庭が少なくなっているようです。昔のような大家族は少なくなり、作っても食べる人がいないので、地元のお店でも一人用のお惣菜を売っています。それでも地元産の漬物（加茂菜漬け・大根漬け）やキャラブリキが並ぶ時があります。運が良ければ出会えます。これが里山の宝庫です。

「加茂地区の「馳走は何処へ」
「せり、なすな、こきょう、は、へら、ほとけのぎ、すずな、すずし春の七草」
お正月は子供や孫、親戚も集まり、にぎやかに過ごされましたか？
加茂地区の雑煮は、角もち、かつおだし、しょうゆ味、青のりです。7日の朝も雑煮です。そして早か夜にセリの混ぜご飯を食べます。11日には鏡開きで「おしるこ」を食べます。15日の朝には「小豆粥」の家もあるかと思いますが、やっぱりお雑煮です。（うちだけでいいから、最近では加茂地区でもだいぶ様子が変わってきたように思います。）
家族全員で餅つきをして、お供え餅を丸める。のしもちを切る。お雑煮に使う里芋、やつがしを畑から掘ってきて洗ってから茹でます。天気の良い日にセリ採りをしてきれいに掃除して新聞紙で包み保存する。神棚に上げる聖護院かぶは所帯の大きい家からもらってくる（かぶをあげる）。30年くらい前には当たり前の光景でしたが、世代によってはお雑煮の食べる回数も違って来ますよね。家族みんな顔をそろえるのが難しい時代なのかもしれません。お正月の食文化はいつまで守られていくのでしょうか。

（大曾根R里山通信員）

加茂学園は今

地域清掃

9月29日（木）に学校近隣の清掃活動を行いました。ほうきやビニール袋を持って学校を出発した生徒たちは、学年ごとに分担した区域を歩きながらこまめにゴミを拾いました。PTAの皆様も並行して除草作業を行ってくださり、通学路が見違えるようにきれいになりました。

加茂地区からも創業者が続々とGuaminal chalk坂本 沙矢加さん。市原商工会議所では創業間もない事業者の成長を後押しする「市原未来創業プロジェクト」の集大成となるイベント「ビジネスオーデイション」を開催いたしました。エントリーした6社が、3カ月かけて専門家と磨き上げてきたビジネスプランをプレゼンしました。単にビジネスプランの優劣を競うのではなく、客席の市内事業者らに向けて販路拡大や協業を呼びかけ、事業者同士で新たな交流が生まれ、実際の事業成長につなげていく予定です。

10月29日（土）に開校10周年記念式典と学園祭を行いました。午前中の式典では、厳かな中にも温もりのあるしととりとした雰囲気、開校からこれまでの加茂学園の歩みを振り返りました。午後の学園祭は、前期・中期・後期の各ブロックごとに発表や合唱が披露され、それぞれの特色がよく出た見ごたえのある内容でした。先輩たちからのバトンを受け継ぎながら、新たな文化を築いていこうという在校生の熱意が会場全体を包んでいました。これからの加茂学園のさらなる成長が楽しみです。

なごることを目的としています。参加企業発表順
①花澤基工 代表 花澤 俊之（設計業・林業）②ユニベン 代表取締役石井 亮介（塗料販売・塗装工事）③Gunn animal school 坂本代表 坂本沙矢加（看板アート）④㈱サンパーク 取締役 上田 悦子（不動産・料理教室）⑤西村直樹税理士事務所 代表 西村 直樹（税理士）⑥ライフデザイン事務所 代表 村山 寛樹（人材コンサル） 出場したのは税理士、看板手描きアーティスト、太巻き寿司職人、林業、塗料販売業、人材コンサルと様々な業種からエン

「加茂里山通信」係まで
締り切 2月10日（金） 当日消印有効
当選の方には直接ご連絡いたします。
賞品の引き渡しは
2月19日（日） 午前1時
月崎の商工会議所加茂支部前で行います。
取りに來れない方でご連絡のない方は無効となりますのでご了承ください。

次回4月20日発行予定です。
情報提供 取材依頼は近頃の通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436(22)4305 担当 霜崎
Eメール tsapon@oci.or.jp

房総・養老深谷の地酒お土産は
養老深谷駅前
角屋商店
養老深谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL0436-96-1108
FAX0436-96-0052

読者の皆様に宝船プレゼントを再開します。
「大当たり賞」 3名様
「お年玉賞」 7名様
「超目玉賞」 6名様
計16名様に当たります。
奮って応募ください。
住所・指名・電話番号と里山通信への「意見・ご感想」添えて「宝船希望」と明記してハガキで応募下さい。

「宝船プレゼント」係まで
〒291-0081
市原市五井中央西1-2-215
市原商工会議所

編集後記
明けておめでとういいます。
今号は寄せられたそれぞれの記事のボリュームがあまりすぎて2面、3面の文字をさらに小さくしたものの写真も大きく載せられませんでした。それぞれの思いが詰まった記事なので、容赦願います。
今号にもありますが、加茂地区の過疎化の問題を個々の町会の問題として捉え、本気になって考える必要があります。首都圏から近く、鉄道が走り、高速のインターもあり、湖や美術館、チバニャンもあり、里山の幸があります。受け入れ態勢を整え、ここにきてよかつたと思える人を一人でも二人でも増やしていけば、その人たちがさらに次の人を呼ぶ可能性があります。この通信でも加茂地区で活躍する若い人たちを紹介していますが、もっと多くの特

「加茂里山通信」係まで
締り切 2月10日（金） 当日消印有効
当選の方には直接ご連絡いたします。
賞品の引き渡しは
2月19日（日） 午前1時
月崎の商工会議所加茂支部前で行います。
取りに來れない方でご連絡のない方は無効となりますのでご了承ください。

愛車のある幸せな暮らし
応援します！
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL0436-96-0482
FAX0436-96-1293

「宝船プレゼント」係まで
〒291-0081
市原市五井中央西1-2-215
市原商工会議所

編集後記
明けておめでとういいます。
今号は寄せられたそれぞれの記事のボリュームがあまりすぎて2面、3面の文字をさらに小さくしたものの写真も大きく載せられませんでした。それぞれの思いが詰まった記事なので、容赦願います。
今号にもありますが、加茂地区の過疎化の問題を個々の町会の問題として捉え、本気になって考える必要があります。首都圏から近く、鉄道が走り、高速のインターもあり、湖や美術館、チバニャンもあり、里山の幸があります。受け入れ態勢を整え、ここにきてよかつたと思える人を一人でも二人でも増やしていけば、その人たちがさらに次の人を呼ぶ可能性があります。この通信でも加茂地区で活躍する若い人たちを紹介していますが、もっと多くの特

「加茂里山通信」係まで
〒291-0081
市原市五井中央西1-2-215
市原商工会議所

編集後記
明けておめでとういいます。
今号は寄せられたそれぞれの記事のボリュームがあまりすぎて2面、3面の文字をさらに小さくしたものの写真も大きく載せられませんでした。それぞれの思いが詰まった記事なので、容赦願います。
今号にもありますが、加茂地区の過疎化の問題を個々の町会の問題として捉え、本気になって考える必要があります。首都圏から近く、鉄道が走り、高速のインターもあり、湖や美術館、チバニャンもあり、里山の幸があります。受け入れ態勢を整え、ここにきてよかつたと思える人を一人でも二人でも増やしていけば、その人たちがさらに次の人を呼ぶ可能性があります。この通信でも加茂地区で活躍する若い人たちを紹介していますが、もっと多くの特

皆様と共に歩む観光
ワカサギ絶好調！
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

（大曾根R里山通信員）

